

消防・救助技術の高度化等検討会（第1回）議事概要

1. 検討会の概要

- (1) 日時：平成24年7月3日（火）15:00～17:00
- (2) 場所：東京桜田ビル706号室
- (3) 出席者：小林座長、飯田委員、奥村委員、椛嶋委員、小出委員、佐藤委員、瀬戸委員、鶴田委員、富永委員、鳥海委員、平澤委員、松野委員、宮城委員、武藤委員、山口委員、吉田委員、渡辺委員

2. 概要

冒頭、事務局より、検討会の開催趣旨、進め方及びスケジュール等の説明を行った。

【各委員の主な意見】

- 防塵マスクは救助隊がない消防本部でも保有している。防塵マスクは吸収缶さえ交換すれば防毒マスクとして使用できるものがほとんどである。
- 放射線物質の輸送中の事故や全国にあるR I施設等も検討の対象とするのか、検討の範囲を明確にすべき。
- 消防、警察、自衛隊等、それぞれの組織が保有している地図を共通で使用できるものとするのはできないか。
- 部隊編成を自動的に行うシステムは、多くの消防本部で導入されているのか。
- オンサイト対策は原子力事業者、オフサイト対策は関係機関が行うものであり、オフサイトにおける消防組織が行う活動とは、消火、救助及び救急活動である。
- 事業者には責任のある事故対応において、消防機関がどこまで対応可能であるか再度見直しが必要。
- 例えばR I事故については、現場に出動する消防隊員に事前に確実に情報が伝わるような仕組みが必要。